



かがやき

西橋北小学校
学校だより

No.24

平成 24 年 11 月 2 日

ユニバーサルデザイン学習(福祉教育)

(文責:後藤 達人)

10月26日(金)に、4年生が、「UD ほっとねっと四日市」のお世話で、ユニバーサルデザインについての学習を行いました。だれもが、安心して、快適に暮らせるユニバーサルな街づくりについての学習です。

この日は、視覚障害者の方にお越しいただき、自分たちの考えたことや思ったことを聞いていただいたり、実際の町の様子等を聞いたりしていきました。

普段私たちは、自分の目を見て、いろいろな判断を下します。それが、見るができないとなると……。そのような状況が、しっかりと想定できたでしょうか。



実は、私もこの日、視覚障害者の方とお話をしていたり、

気づかされたことがありました。私たちは、当然と思って普段何気なくやっていることです。

それは、質問した後に起こりました。すぐに答えが返ってこず、少し間が空いたので。何を意味するのでしょうか。

私たちは、何人かの人と話をするとき、だれに向かって質問しているのかを目や手振りで示すことが多くあります。こ

この日、私は、無意識に相手の顔を見て、「あなたにお尋ねしている」ことが分かるようにしてから話しました。でも、相手には、この行為は見えていません。まったく視覚障害を持つ人のことを考えていなかったのです。「〇〇さん・・・」と名前を読んでからお話をする必要があったのです。子どもたち同様、私もこの方から貴重な学習を積ませていただき、とてもありがたく思いました。

橋北地区文化ふれあい祭りに向けて

10月28日(日)に行われた「文化ふれあいまつり」で、3,4年生が合奏と歌の発表をしました。三泗音楽会が近づいているため、本番

に近い形で練習ができるいい機会を与えていただきました。この日までにも、子どもたちは、一生懸命に練習を重ね、少

しずついい曲想になってきました。当日は、たくさんの地域の方々に聴いていただき、少し自信が上昇したことでしょう。音楽会当日までに、さらなる進化を期待しましょう。応援をよろしくお願いします。



1年生どんぐり工作

1年生が、集めてきたどんぐりを使って、工作をしていました。黒板の前には、たくさんのどんぐりが置いてありました。これだけあれば、子どもたち一人ひとりが、自分の思いで、存分に楽しみながら、製作に没頭することができるでしょう。



危険を伴う穴あけ作業は、もっぱら先生が担当しています。子どもたちは、ドリルできれいに穴が開いていく様子をじっくりと眺めていました。自分が構想していることとイメージを重ねているのでしょうか。先生を応援しているような姿が、印象的でした。

作品の台になるダンボールをダンボールカッターで切るのも、1年生にとっては一苦勞です。でも、みんなは、がんばって一生懸命取り組んでいます。そのような中で、2人で協力し合っている姿も見られました。



先生が、声をかけたわけでもないのに、自然にできたことが、とてもうれしく思います。こんなところで、普段から取り組んでいる「仲間づくり」の成果が見られることに、子どもたちの成長が感じられます。これからも、いろいろな場面で、仲良く、助け合って生活していってほしいと願っています。

今日もまた、きらりと光る子どもたちの姿にふれ、すてきな子どもたちに囲まれて過ごしていることの幸せを感じました。



思わず目を奪われる毛筆作品

橋北地区文化ふれあいまつりにも出品されていましたが、4年生の毛筆は、楽しみながら鑑賞することができました。その中で「スポーツの秋」と題した3つの作品を紹介します。それぞれには副題がついています。「スイミング」「柔道」「サッカー」です。さあ、どれがその作品でしょうか？



11月の主な行事

PTA 古紙回収 6(火)
修学旅行(6年生)
8(木)~9(金)
一日公開デー・一日防
災デー・家庭教育講座
10(土)
三泗小学校音楽会
15(木)午後
校内読書週間
19(月)~30(金)
観劇(東小で) 21(水)
就学時健診 29(木)